


学習指導改善調査 実践モニター 実施計画書

私のプロフィール		
氏名	六井 洋	
勤務先	新発田市立外ヶ輪小学校	
○ 担当学年	5年生 実践教科 算数	

★取組の方向

私	<p>学習面でも生活面でも「勇気と意欲をもって行動できる子どもを育てる」が信条。学習で言えば、「分かっているのに手を挙げない」「問題を解くことをあきらめる」ではなく、「やってみよう！」という気持ちをもって学習に取り組めるような支援・指導が大切であると考えている。やってみたらできた経験、自信が次への意欲に結びつき、ひいては、学習全体の力の向上に繋がっていくという形が理想である。今回は、『考え方や考える習慣』を身に付けさせることに力を入れ、児童に達成感を味わわせていきたい。</p>																																																	
学級の実態	<p>児童数 男子19名 女子16名 計35名 今年の学習指導改善調査の結果・・・算数（平均56.2）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">数と計算（分数）</th> <th colspan="5">数量関係（2次元表）</th> </tr> <tr> <th>かさ①</th> <th>かさ②</th> <th>長さ</th> <th>説明</th> <th>数値①</th> <th>数値②</th> <th>B説明</th> <th>C説明</th> <th>表完成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通過率</td> <td>62.9</td> <td>60.0</td> <td>48.6</td> <td>17.1</td> <td>91.4</td> <td>94.3</td> <td>20</td> <td>25.7</td> <td>85.7</td> </tr> <tr> <td>誤答率</td> <td>37.1</td> <td>40.0</td> <td>51.4</td> <td>82.9</td> <td>8.6</td> <td>5.7</td> <td>77.1</td> <td>68.6</td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>無答率</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2.9</td> <td>5.7</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>テープの長さを分数で表す問題は、約半数の児童が正解しているのに対し、その説明ができていない児童は2割に満たない。また、2次元表の問題では、表を完成できた児童が8割以上いたが、それを言葉と式で正しく説明できた児童は約2割であった。このことから、「順序立てて説明する力」が弱いことがわかる。</p>		数と計算（分数）				数量関係（2次元表）					かさ①	かさ②	長さ	説明	数値①	数値②	B説明	C説明	表完成	通過率	62.9	60.0	48.6	17.1	91.4	94.3	20	25.7	85.7	誤答率	37.1	40.0	51.4	82.9	8.6	5.7	77.1	68.6	14.3	無答率	0	0	0	0	0	0	2.9	5.7	0
	数と計算（分数）				数量関係（2次元表）																																													
	かさ①	かさ②	長さ	説明	数値①	数値②	B説明	C説明	表完成																																									
通過率	62.9	60.0	48.6	17.1	91.4	94.3	20	25.7	85.7																																									
誤答率	37.1	40.0	51.4	82.9	8.6	5.7	77.1	68.6	14.3																																									
無答率	0	0	0	0	0	0	2.9	5.7	0																																									
今後の指導方向	<p>「考える力」を育てるために、『エリアカード（ワークシート）』を活用する。</p> <p>『エリアカード』とは、問題解決学習の際に自分の考えを記入するワークシートである。このカードは、1枚の紙に、数の操作や計算を中心に考える「数・計算エリア」、テープ図や数直線、図形をもとに考える「図・線エリア」、自分の考えを整理し文章にする「説明エリア」、友達の発表や自分の考えについて振り返る「感想エリア」の4つのエリアに分かれているものである。</p> <p>これを継続的に用いることによって、以下の考える力を高める効果が得られると考える。</p> <p>①文章題を読み、半具体物操作を行うことで、見通しをもち、最後まで考えることができる。</p> <p>②問題に対する自分自身の思考の流れが分かり、つまずきに気付くことができる。</p> <p>③自力解決→説明→発表という順序で必ず考えを一度文章化し、整理することで分かりやすく説明ができる。</p> <p>④友達のよい説明を聞いたり、自分で繰り返したりしていく中で筋道立てた考え方が身に付く。</p> <p>④教師が授業後も一人一人の児童の思考の流れやつまずきを確認し、次時に生かすことができる</p>																																																	

